

第3回 新市まちづくり計画検討小委員会会議次第

と き 平成16年2月23日(月) 午後6時30分～

ところ 西脇市生涯学習まちづくりセンター

1 開会

2 委員長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 議事

前回のワークショップの取りまとめについて

新市の基本理念と将来像について

新市の都市構造について

新市まちづくり計画（将来構想部分）の中間報告について

5 次回の議題等について（予定）

新市の将来像、基本方向について

新市まちづくり計画（将来構想部分）の中間報告について

6 その他

次回の開催日程

日時 平成16年3月 日（ ）

場所 西脇市生涯学習まちづくりセンター

その他

7 閉会

新市まちづくり計画の構成内容と検討時期

項 目	内 容	検討時期
序 論		
合併の必要性 と効果	地方分権や少子高齢化などの社会潮流、地域活性化などの観点から合併の必要性を検討し、住民にとって不利益、不便が生じないような合併及び新市のまちづくりの留意点を整理する。	第2回小委員会 (1/29)
計画策定方針	計画の趣旨、構成、期間等について位置付ける。	第2回協議会 (12/19)
第1章 新市の概況		
地域の概況 ・特性	両市町の地勢・人口・世帯等の社会経済指標や生活環境指標の数値や推移を把握し、地域の現状分析を行う。	第2回小委員会 (1/29)
主要課題の 把握	両市町の既存の総合計画等から見た位置付け、住民意向調査調査、現況分析から新市の主要課題を把握する。	第2回小委員会 (1/29)
第2章 主要指標の見通し		
	新市の将来人口、年齢別人口、世帯数等の見通しを検討する。	
第3章 新市のまちづくりの基本方針		
新市の将来像 ・基本理念	計画推進のための新市の基本理念・将来像を定め、まちづくりの方向性、目標を示す。	第3回小委員会 (2/23)
新市まちづくり の基本方針	新市の将来像を実現するための基本方針を示す。	
新市の 都市構造	地域別の土地利用の現状、交通条件等に配慮し、長期的展望から見た新市の都市構造を示す。	第3回小委員会 (2/23)
第4章 新市の施策		
施策体系	基本方針ごとに、より具体的な施策方針を定め、施策の体系化、施策展開の考え方を示し、主要事業の位置付けを行う。 (例) 産業の振興 都市基盤・生活基盤の整備 健康福祉の充実 自然環境と共生するまちづくり など	
事業推進	基本方針を実現するための新市事業・県事業を具体的に示す。	
第5章 公共的施設の適正配置と整備		
	住民サービスの低下を招かないように地域の実情と財政事情を勘案し、市役所をはじめとする公共施設の統合整備、適正配置、機能の充実の方向について示す。	
第6章 財政計画		
前提条件の 設定	過去の歳入・歳出の推移、合併による財政支援措置の活用を踏まえ、財政見通しの検討のための前提条件を設定する。	
歳入・歳出の 見通し	合併後の歳入、歳出に係る財政見通しを検討する。 (計画書掲載は合併後10年分、県提出資料は合併後15年分)	

前回のワークショップの取りまとめ

第2回小委員会で、ワークショップ方式により検討した「両市町の現状・主要課題」、「新市の将来像・基本理念」についてのみなさんの意見を次のように整理しました。

【まちづくりのキーワード】

西脇市・黒田庄町のまちづくりのキーワード					
自然、環境、 循環型社会、 有機農業	自然環境を活かしたまちづくり	自然環境	自然	環境	加古川 清流に戻したい
	水	里山	緑	土づくり	有機農業
	有機の里	循環型社会	資源循環型	循環型社会構造	恵み
	共生	癒しの風景			
支えあい、地域コミュニティ、 自治、協働	地域	地域自治	コミュニティ	参画	分権
	小さな本庁 大きな支所	官民一体型の 地域づくり	協働	住民に対する行政サービス強化(行政と住民のコミュニケーションをはかる)	競争の時を越え今支え合う社会
	支えあう				
健康、福祉	高齢者	福祉の充実	子育て支援 (青少年の育成)	子育て	健康
地域資源	へそ	日本のへそ	北はりま田園空間博物館	黒田庄牛	播州織
	地域資源	特産物で日本一を目指す			
人、心	心豊かな 思いやり	心ふれあう街 安らぎ	心豊かな街	ひと	ひとの豊かさ
	工芸都市	市財源確保を 税収以外でいかに かに行うか	輝く	温暖穏やかな 気候	隠れた観光開発
その他	個性	魅力	活性化	元気	生活レベルで格差の少ない 共存共栄を重視すべきだ
	共存・共栄 歴史	情報の共有 潤い	連携 命	文化	生活環境

【キャッチフレーズ】

キャッチフレーズ案			
水と緑	北播磨の人と文化が	織りなす	田園都市
豊かな自然		育む	
豊かな風土			
豊かな土壌			
命を大切にするへその街			
自慢のできるまちづくり			
加古川に育まれた人間性豊かな田園都市			
水・緑・ひとが輝く共生のまち			
日本のへそ豊かな自然が織りなす安心の町			
ひと、豊かな自然、歴史と文化織りなす交流の町			
ひとが輝き、自然と共生協働で地域が輝くまち			
高齢者にやさしいまち			
自然との共存を目指したまちづくり			
安全で安心して暮らせるまちづくり			
人と自然にやさしい環境づくり			
人と自然にやさしい環境づくり自然の融合するまち西脇			
自然と人との共生のまち西脇市			
大地の恵みと心のかよう豊かな都市			
心のタスキでつなぐ明るい未来			
川の流れの豊かさと、人の心の豊かさがうれしいまち			
ご縁って不思議ですね、西脇が好きです			

新市まちづくりの基本理念と将来像について

社会潮流、西脇市と黒田庄町の現状、関連計画から見る方向性、住民意向調査の結果等に基づく主要課題等を踏まえ、両市町が合併した場合の新市のまちづくりの理念と将来像を設定します。

まちづくりの基本理念

自立した地域コミュニティと創造的な行政の協働によるまちづくり

住民自身が地域の身近な課題を解決できるように、自立した地域自治コミュニティを構築していきます。また、行政は限られた財源の中で最大限の効果を生み出すために、メリハリのある施策を展開していくとともに、住民や企業のまちづくりへの参画を支援します。そして、住民・企業・行政が各々の役割を認識し、積極的に連携していくことで、北播磨の先進都市として協働によるまちづくりを実現していきます。

思いやりと優しさにあふれ、みんなが安心して暮らせるまちづくり

住民一人ひとりがお互いを思いやる心を持ち、地域の中で支えあい、助け合える社会を創造していきます。その中で、どこに住んでいても、誰もが安心して健康に暮らせるまちづくりをすすめていきます。

豊かな地域資源を活用し、まちの可能性を最大限に引き伸ばすまちづくり

加古川に育まれた豊かな自然資源と、両市町固有の伝統と文化を再認識し、新市となってさらに個性と魅力を発揮するまちづくりをすすめていきます。そして、新市が一丸となってまちの潜在能力を最大限に引き出し、産業の振興や商業の活性化などを推進することで、活気のあるまちを創造していきます。

新市の将来像(案)

将来像(キャッチフレーズ)については、小委員会において、具体的なご提案をいただきながら、引き続き検討していきます。

【第1案】

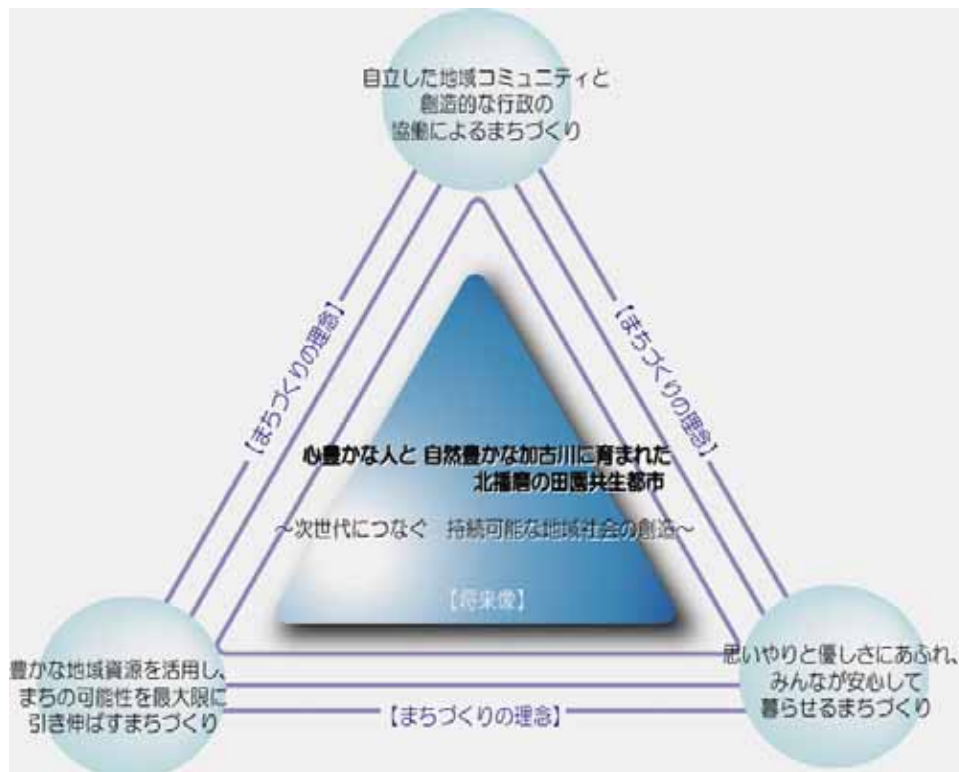
心豊かな人と 自然豊かな加古川に育まれた
北播磨の田園共生都市
～次世代につなぐ 持続可能な地域社会の創造～

【第2案】

心豊かな人と 加古川に育まれた自然が共生する
北播磨の田園都市
～次世代につなぐ 持続可能な地域社会の創造～

新市の中を悠然と流れる加古川に育まれた自然とともに、市民一人ひとりがお互いを思いやり、豊かな心を持って暮らすことができる北播磨の拠点都市を目指します。

そのためには、環境負荷の少ない循環型社会の構築をすすめ、豊かな自然資源を後世へと継承していくとともに、自立した持続可能な地域社会を創造していきます。



新市の都市構造について

【設定の目的】

土地利用の現況やこれまでの開発の方向性、各地域の特性や経済要因などを踏まえ、新市の均衡ある発展、計画的なまちづくりを進めていくために設定する。

【既存計画の方向性】

21世紀兵庫全県ビジョン

- ・県土の活用を進める展開方向 ～面的イメージ～
両市町のエリアは、都市近郊区域に接する多自然居住区域に位置付けられている。

第4次播磨内陸広域市町村圏計画

- ・土地利用のイメージとして、西脇市中心部は「にぎわい活性化ゾーン」として位置付けられ、商業・レクリエーション機能の充実、自然環境などを活かした都市機能の立地促進が整備方向として掲げられている。
- ・西脇市周辺部、黒田庄町全域は、「自然環境ゾーン」として位置付けられ、農林業の振興、都市との交流機能の整備を図るとともに、自然景観の保全が掲げられている。
- ・中心部の「にぎわい活性化ゾーン」と「自然環境ゾーン」の間及び西脇市の南部が、「文化環境ゾーン」と位置付けられ、文化空間の形成に向けた整備促進、良好な居住地の形成と産業機能などの立地が整備方向として掲げられている。

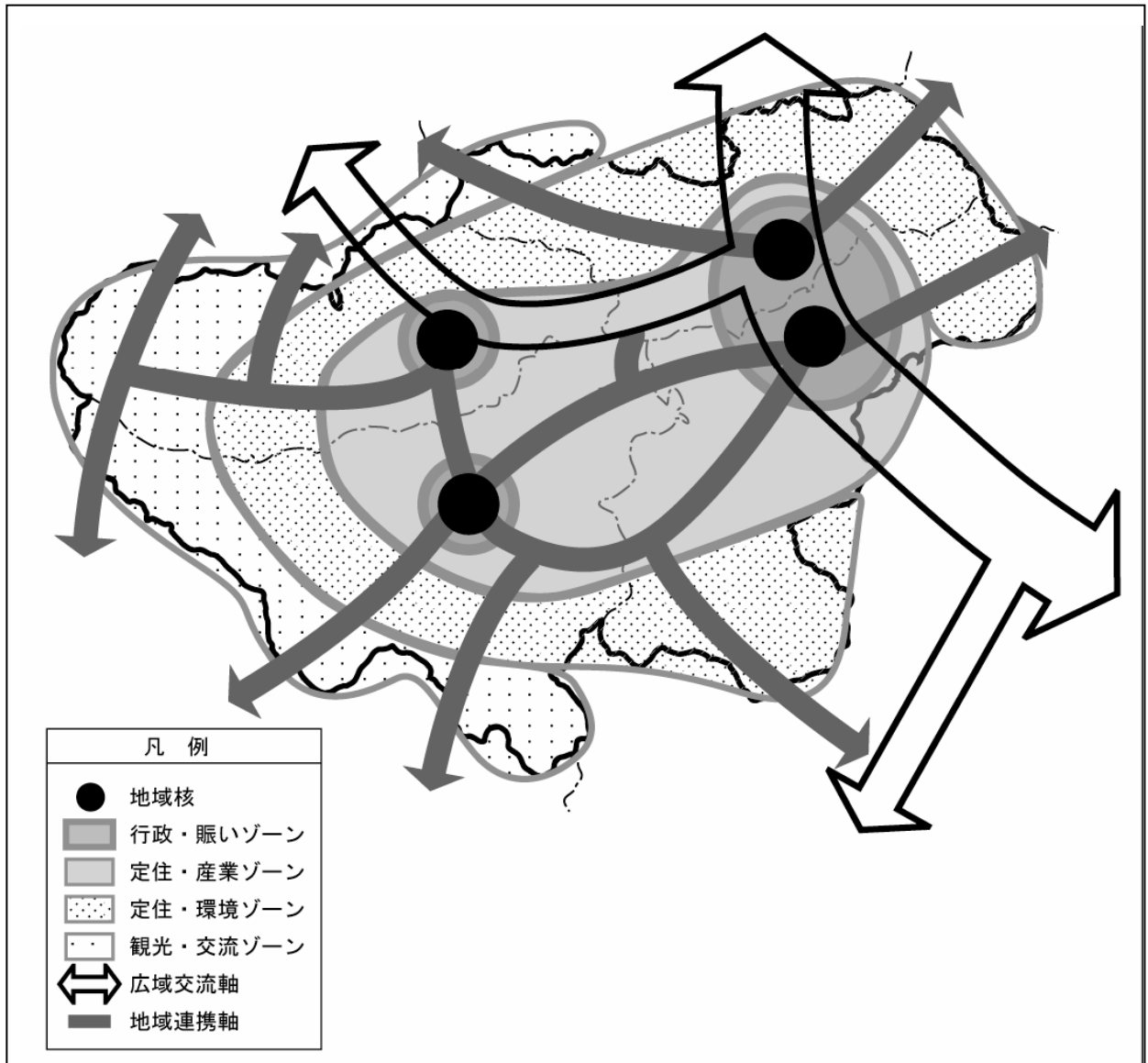
第3次西脇市総合計画

- ・以下の4つのゾーンにわけて整備方向を示している。
 - ・「市街地ゾーン」
 - ・「田園、緑地ゾーン」
 - ・「工場誘導ゾーン」
 - ・「広域交流ゾーン」

黒田庄町第3次長期総合計画

- ・前期計画では、以下の5つのゾーンにわけて整備方向が示されている。
 - ・「自然環境ゾーン」
 - ・「田園環境ゾーン」
 - ・「産業交流ゾーン」
 - ・「生活交流ゾーン」
 - ・「公園交流ゾーン」
- ・後期計画では、「地域別まちづくり計画」の推進として、町内を3つのゾーンに分けて検討されている。

【都市構造の事例： 養父市】



上記図について
「核」 ... 〇〇で表示されている部分
「軸」 ... 〇〇、■で表示されている部分
「ゾーン」...色塗りされて“〇〇ゾーン”と表示されている部分